

令和6年度 第1回 SNSを活用したアンケート結果 (中高生版)

東京都子供政策連携室
令和6(2024)年9月



「SNSを活用したアンケート」について

- 東京都では、中高生の皆さんの様々な意見を広く収集するため、日常的に使用しているSNSを活用したアンケートを実施しています。
- 中高生の皆さんが「日ごろの暮らしの中で感じていること」や「東京都の事業について思っていること」等を知り、様々な政策や取組につなげていきます。

【概要】

- SNSのユーザーに対して匿名型アンケートを実施
- 都内在住又は在学の13歳から18歳

実施時期	回答者数	テーマ
令和6(2024)年 6月26日～7月2日	5,000人	日常生活に関すること、 相談に関すること、イン ターネット・SNS の利用状況、ヤングケ アラー

※「高校生」には、高校生相当年齢(15～18歳)の子供を含みます。

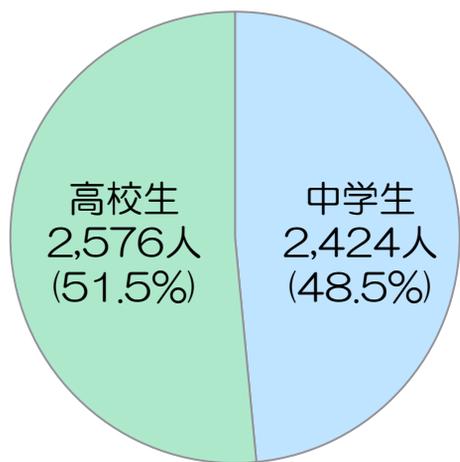
※n (number of cases)は、100%が何人の回答者に相当するかを示しています。

※小数点第2位以下は表示していないため、合計が100%にならない場合があります。

目次

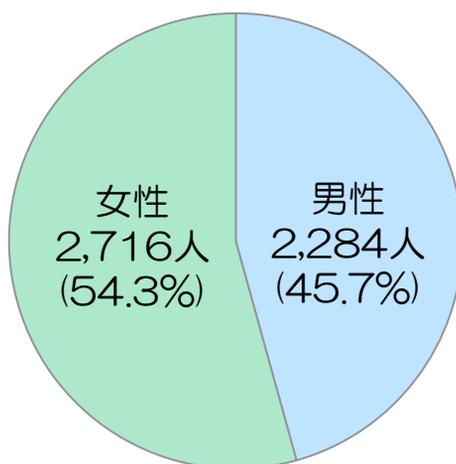
- 01 SNSを活用したアンケートの回答者について・・・2ページ
- 02 「日常生活に関すること」について・・・・・・・・・・3ページ
- 03 「相談に関すること」、「インターネット・SNSの利用状況」について・・・・・・・・・・7ページ
- 04 「ヤングケアラー」について・・・・・・・・・・10ページ

【中高生等の割合】



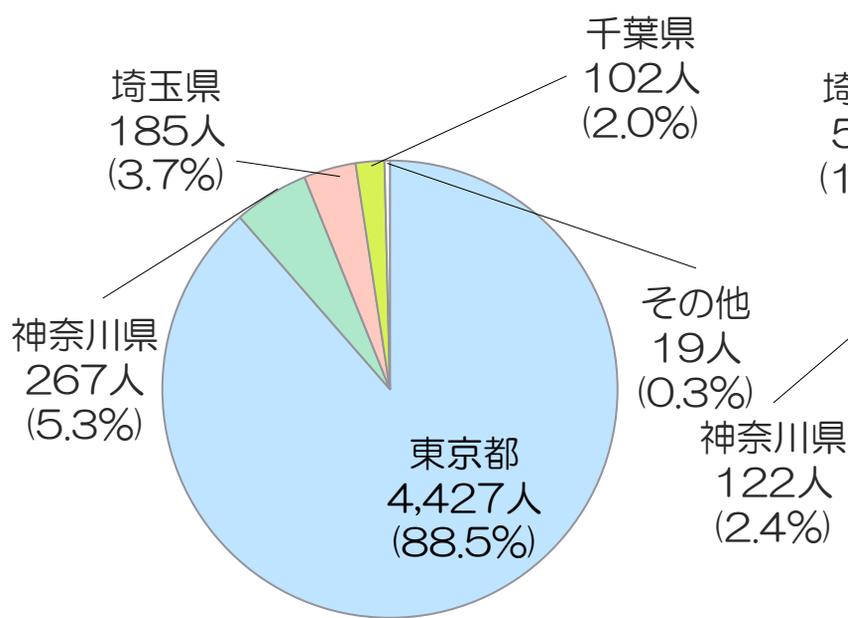
n=5,000

【性別】



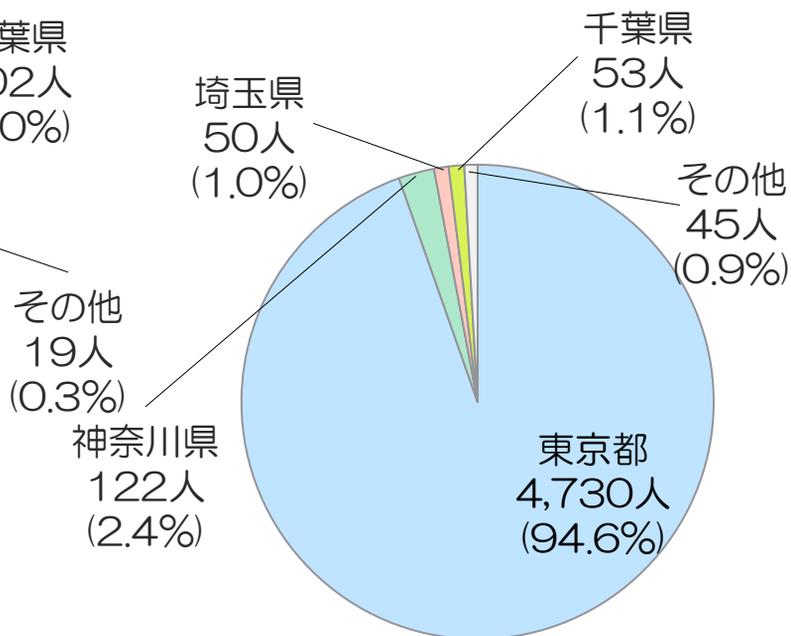
n=5,000

【住んでいる都道府県】



n=5,000

【通っている学校の所在地】



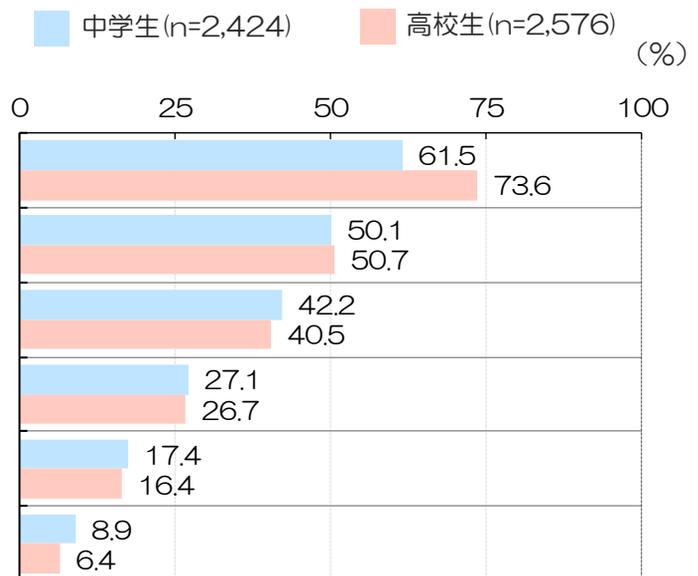
n=5,000

2. 「日常生活に関すること」について

Q1 あなたは、日常生活を送る中で、どのようなことに興味・関心や心配ごとがありますか。（3つまで）

- 中学生・高校生ともに「**将来に関すること**」が最も高く、続いて「**学校生活に関すること**」、「**遊びに関すること**」となっています。
- 「将来に関すること」は、高校生のほうが中学生よりも10%以上高くなっています。

※選択肢は、中高生全体の回答の割合が多い順に並べ替え（「当てはまるものはない／答えたくない」を除く）



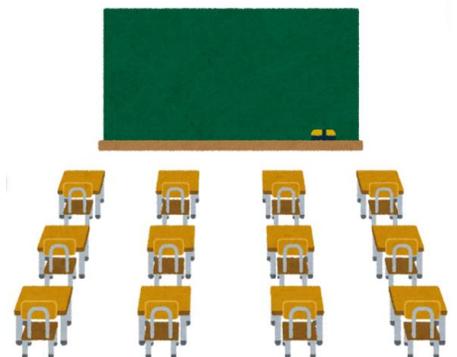
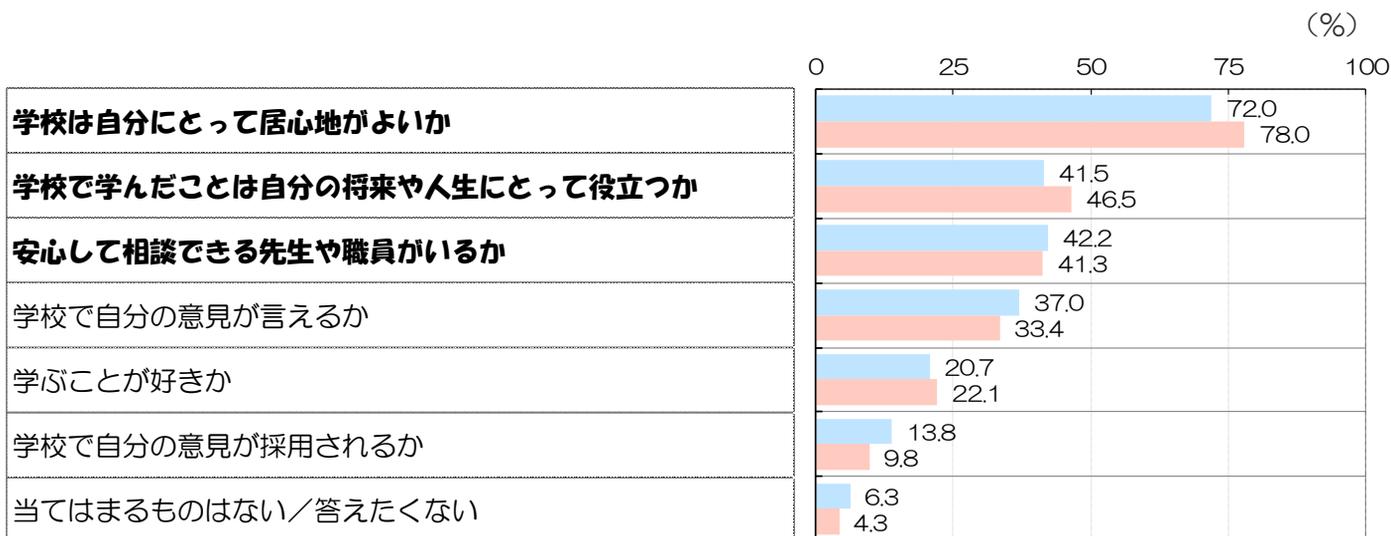
2. 「日常生活に関すること」について

Q2 快適な学校生活を送る上で、特に大事だと感じることは何ですか。
(3 つまで)

- 中学生・高校生ともに、「**学校は自分にとって居心地がよいか**」が最も高くなっています。
- 次に高いのは、中学生では「安心して相談できる先生や職員がいるか」、高校生では「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役立つか」となっています。

※選択肢は、中高生全体の回答の割合が多い順に並べ替え
(「当てはまるものはない/答えたくない」を除く)

■ 中学生(n=2,424) ■ 高校生(n=2,576)

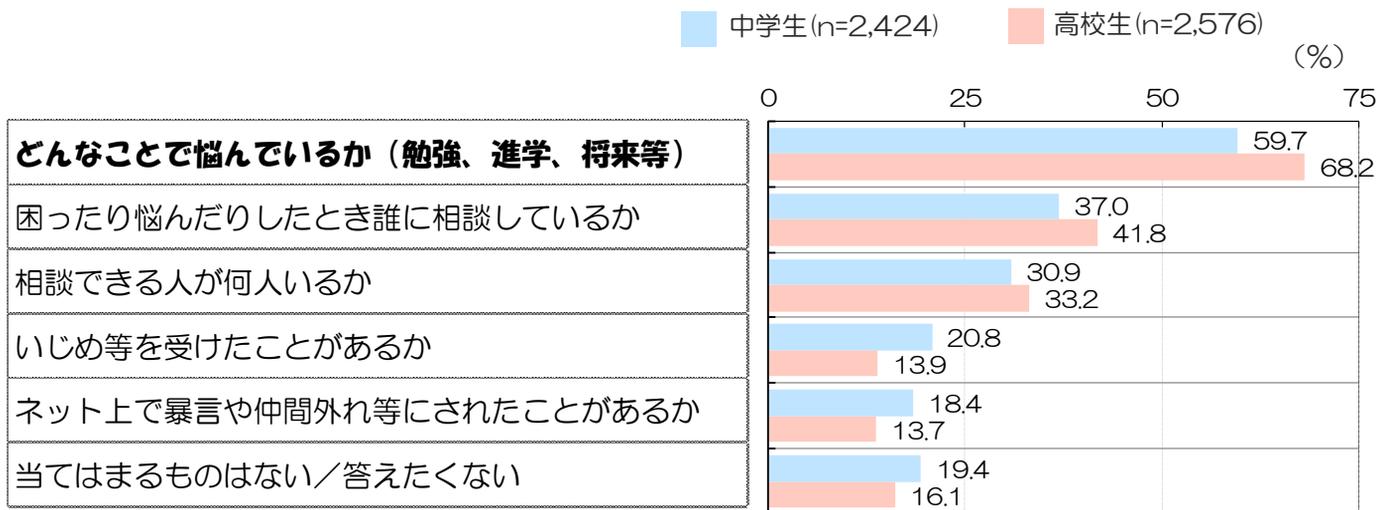


2. 「日常生活に関すること」について

Q3 同年代の悩みごとについて、特にどんなことが気になりますか。
(3つまで)

- 中学生・高校生ともに「**どんなことで悩んでいるか（勉強、進学、将来等）**」が最も高くなっています。

※選択肢は、中高生全体の回答の割合が多い順に並べ替え
（「当てはまるものはない／答えたくない」を除く）

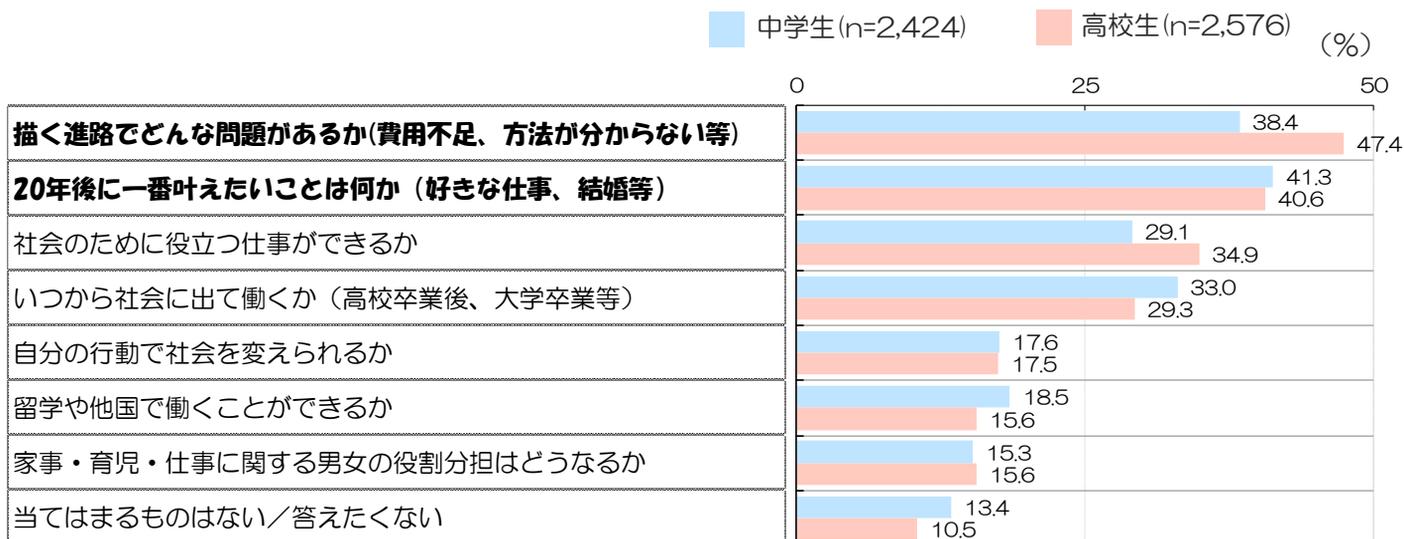


2. 「日常生活に関すること」について

Q4 あなたが自分の将来について思いを巡らせる時、特にどういったことを考えたり、気になったりしますか。（3つまで）

- 中学生では「**20年後に一番叶えたいことは何か（好きな仕事、結婚等）**」が最も高くなっています。
- 高校生では、「**描く進路でどんな問題があるか（費用不足、方法が分からない等）**」が最も高く、中学生と比べて約10%高いです。

※選択肢は、中高校生全体の回答の割合が多い順に並べ替え（「当てはまるものはない／答えたくない」を除く）

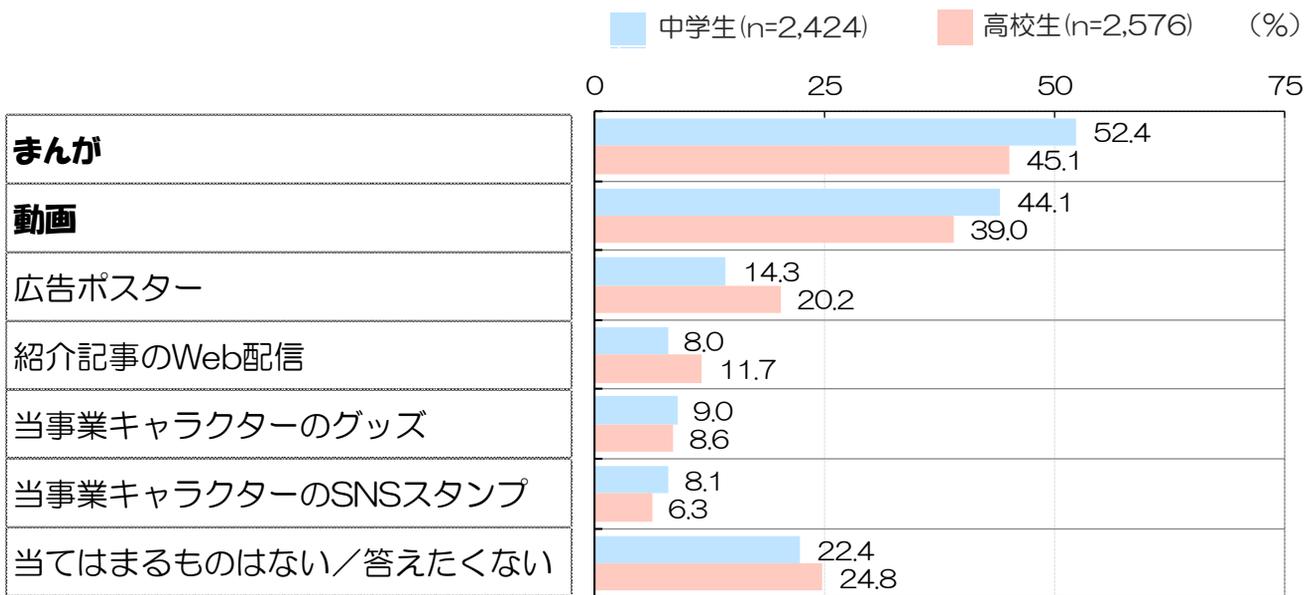


3. 「相談に関すること」、 「インターネット・SNSの利用状況」について P-7

Q5 東京都の相談窓口について、どのようなコンテンツがあれば興味・関心がわきますか。（いくつでも）

- 中学生・高校生ともに、「**まんが**」が最も高く、続いて「**動画**」となっています。

※選択肢は、中高生全体の回答の割合が多い順に並べ替え
（「当てはまるものはない／答えたくない」を除く）



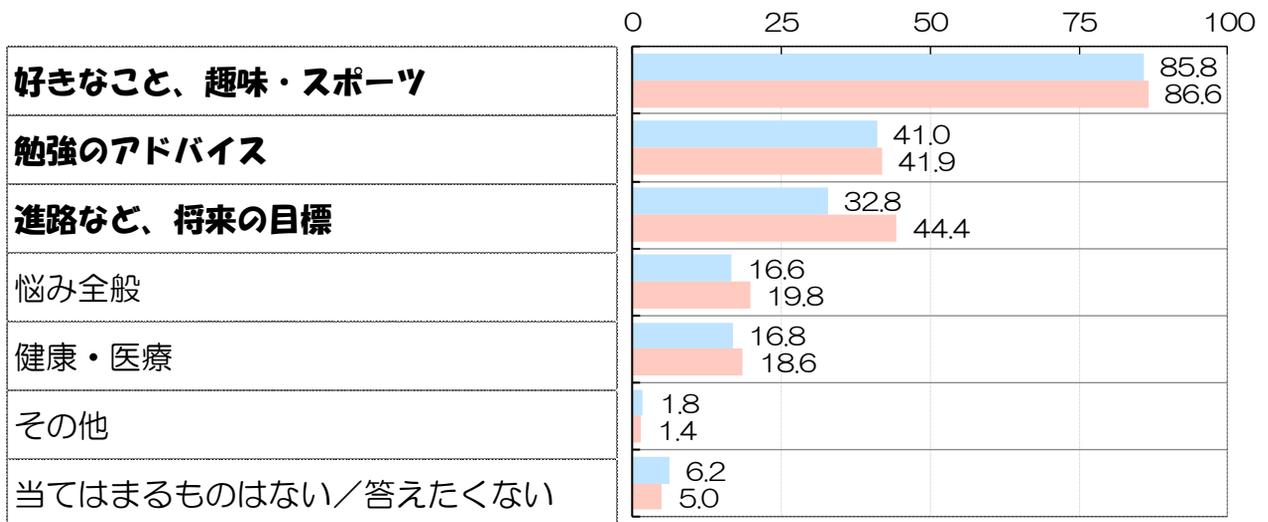
3. 「相談に関すること」、 「インターネット・SNSの利用状況」について

Q6 インターネットで日常的に収集したい情報のジャンルはありますか。
(いくつでも)

- 中学生・高校生ともに、「好きなこと、趣味・スポーツ」が最も高くなっています。
- 次に高いのは、中学生では「勉強のアドバイス」、高校生では「進路など、将来の目標」となっています。

※選択肢は、中高生全体の回答の割合が多い順に並べ替え
(「その他」「当てはまるものはない/答えたくない」を除く)

■ 中学生(n=2,424) ■ 高校生(n=2,576) (%)

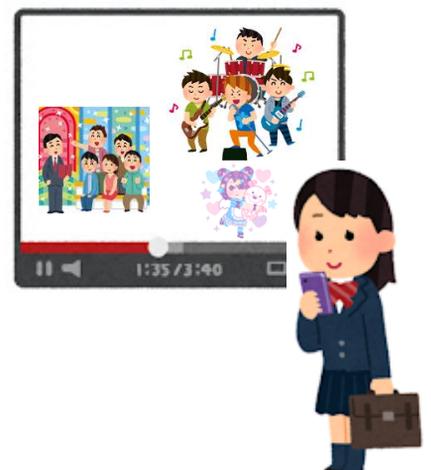
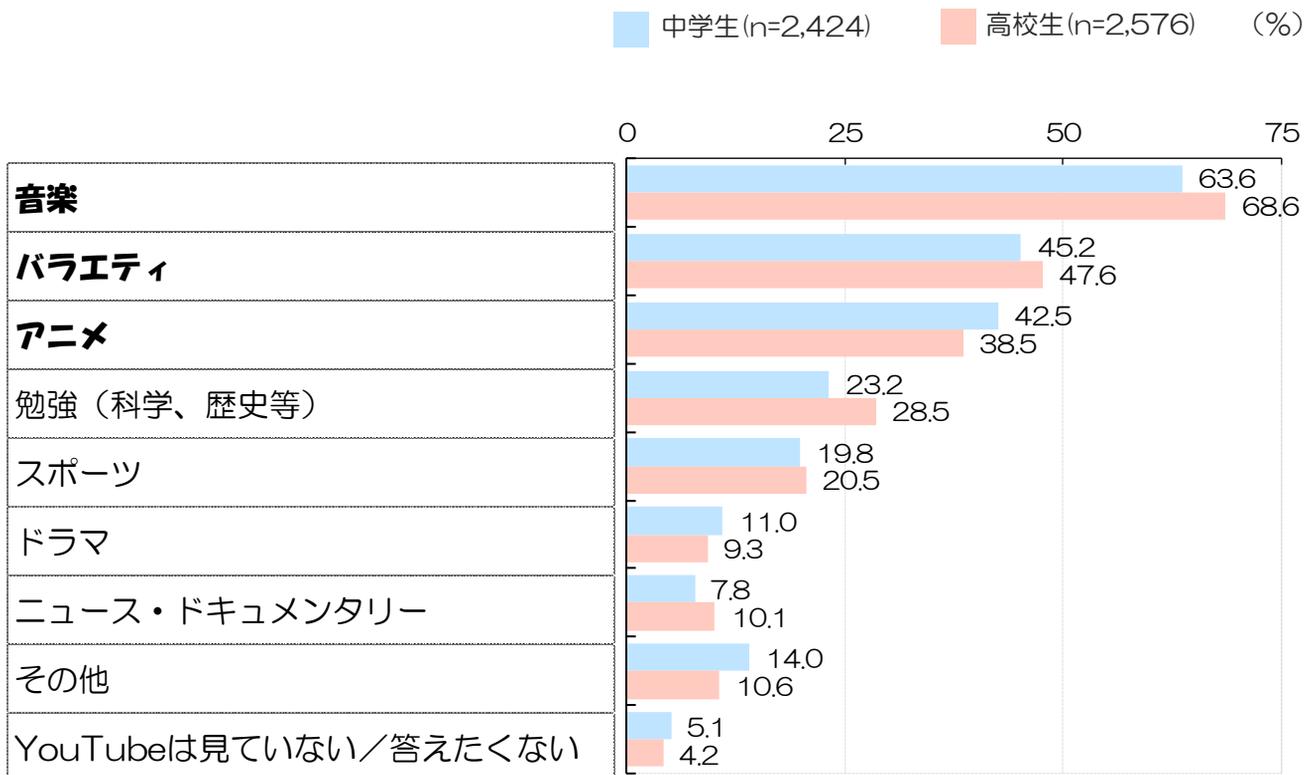


3. 「相談に関すること」、 「インターネット・SNSの利用状況」について

Q7 YouTubeではどのジャンルの動画を見ることが多いですか。
(いくつでも)

■ 中学生・高校生ともに、「音楽」が最も高く、続いて「バラエティー」、「アニメ」となっています。

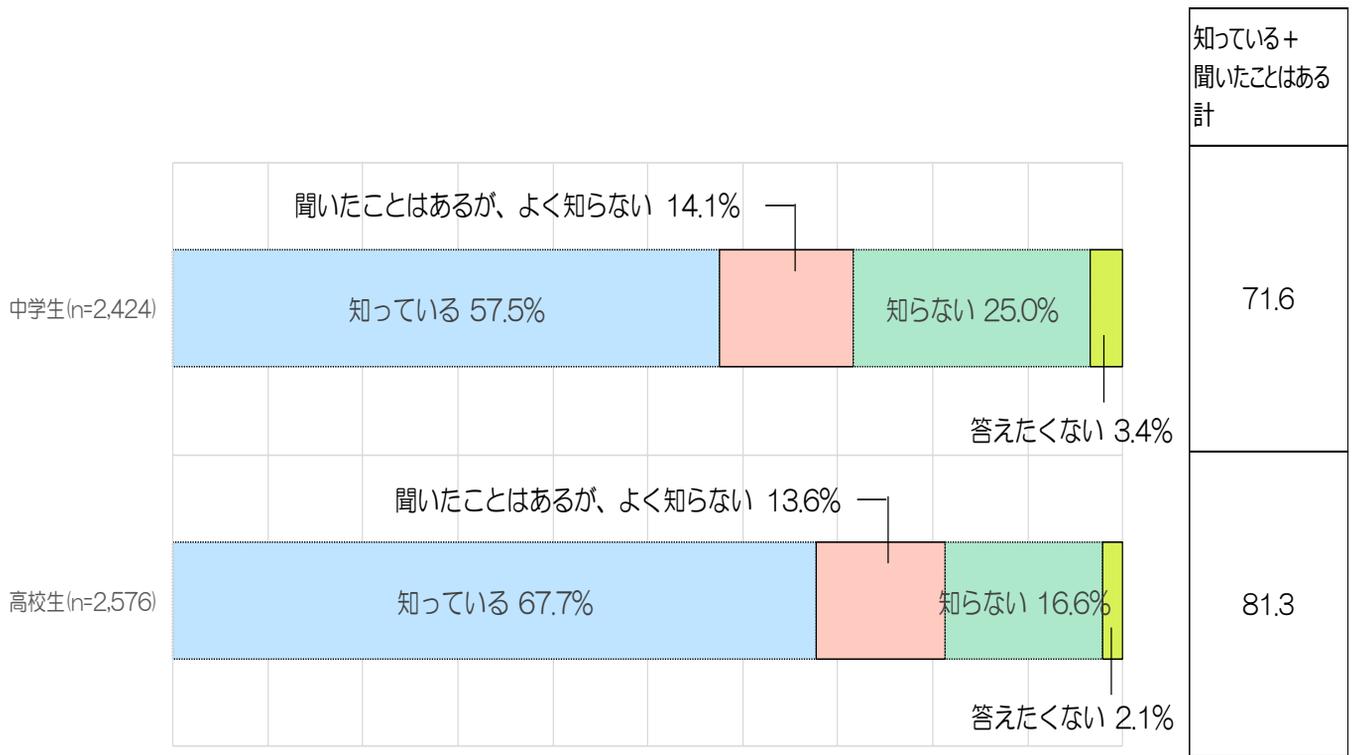
※選択肢は、中高生全体の回答の割合が多い順に並べ替え
(「その他」「YouTubeは見ていない/答えたくない」を除く)



4. ヤングケアラーについて

Q8 「ヤングケアラー」について、知っていますか。(ひとつだけ)

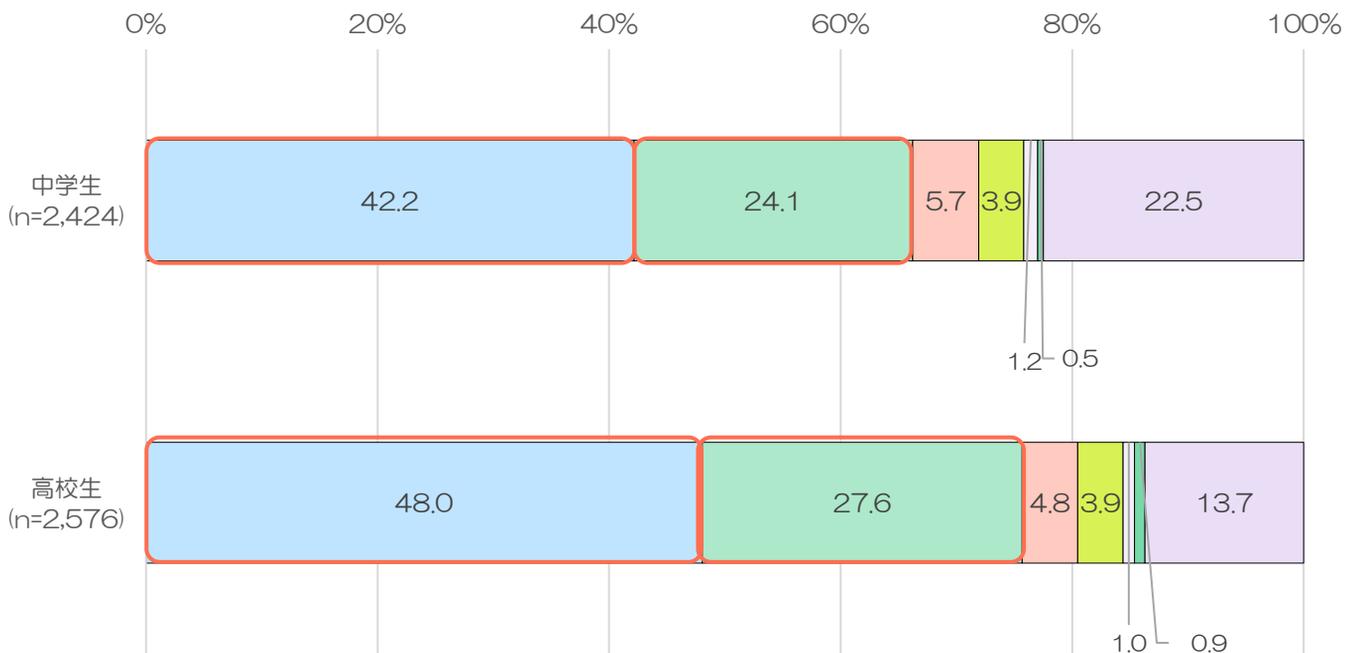
- 中学生・高校生ともに、「**知っている**」が最も高く、「知らない」を上回っています。
- また、「知っている」と「聞いたことがある」の合計は、中学生では約7割、高校生では約8割となっています。



Q9 ヤングケアラーについて広く社会に周知し、理解してもらうために、一番効果があると思うものを一つ選んでください。（ひとつだけ）

■ 中学生・高校生ともに、「**学校での授業の実施**」が最も高く、続いて「ヤングケアラーの経験談を基にした啓発動画をSNS等で配信」となっています。

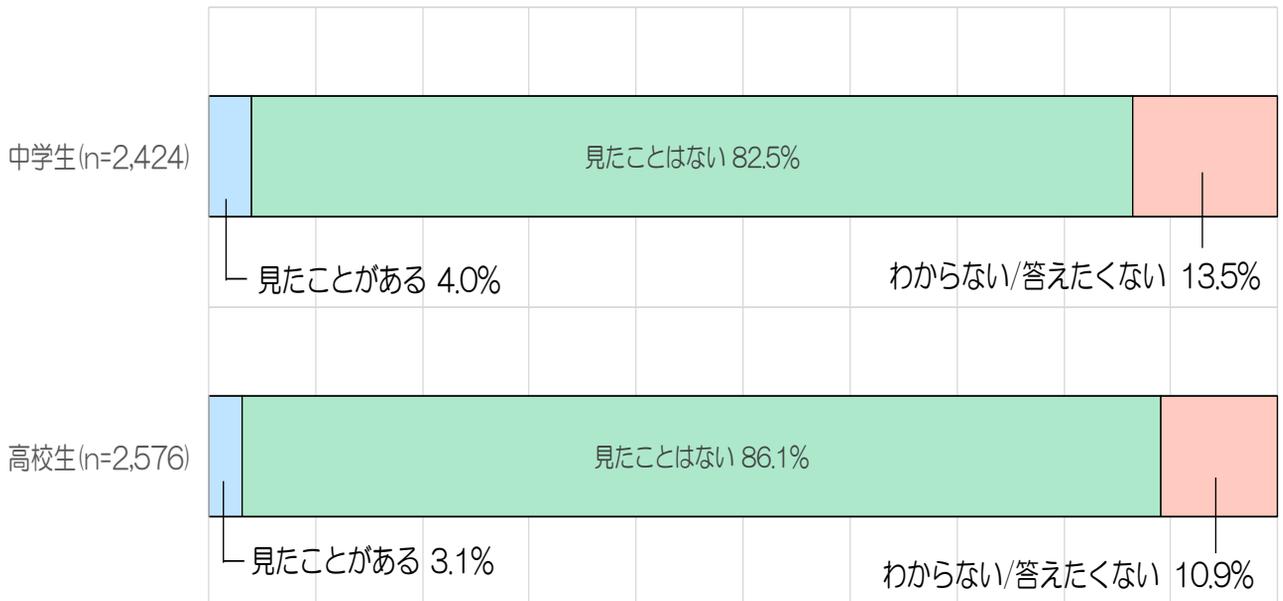
※選択肢は、中高生全体の回答の割合が多い順に並べ替え（「その他」「わからない／答えたくない」を除く）



- 学校での授業の実施
- ヤングケアラーの経験談を基にした啓発動画をSNS等で配信
- ポスターなど周知のためのグッズ作成・配布・掲示
- 行政が発行する広報誌にヤングケアラーの特集記事を掲載
- シンポジウムなどのライブイベントの開催
- その他
- わからない／答えたくない

Q10 「ヤングケアラーのひろば」というホームページを見たことがありますか。（ひとつだけ）

■中学生・高校生ともに、「**見たことはない**」が最も高く、「見たことがある」と回答した中学生は4.0%、高校生は3.1%にとどまっています。



Q11 ヤングケアラーの専用HP「ヤングケアラーのひろば」の存在を知ってもらうために、一番効果があると思うものを一つ選んでください。(ひとつだけ)

- 中学生・高校生ともに、「**SNS等のWeb媒体やインターネット広告で情報発信**」が最も高くなっています。
- 次に高いのは、中学生では「学校でチラシ等を配布・周知」、高校生では「**テレビCMや新聞等のインターネット以外で情報発信**」となっています。

※選択肢は、中高生全体の回答の割合が多い順に並べ替え（「その他」「わからない/答えたくない」を除く）

